

# 生きもの

DE

# すわ

令和3年11月30日発行  
文・写真・絵 生きもの集め隊 隊長 平野 邦好

## えっ！なんでカエルがいるの？

### ヤマアカガエル

野外でカエルの鳴き声を聞いたり、オタマジャクシを見つけたりした経験がありますか。近頃は、横須賀市内でオタマジャクシやカエルを見かけることがとても少なくなりました。でも、市内には毎年カエルが池に卵を産みに来てくれる学校がいくつかあるのです。諏訪小学校もそうならないかと思い、私の家の池で産まれたオタマジャクシ20匹ほどを4月に諏訪小のビオトープに放しました。後ろ足が出たところまで確認しましたが、その後は行方不明でした。すっかり忘れていましたが、9月22日に水路周りの草を刈っていたら、突然飛び出してきてびっくりしました。

このカエルはヤマアカガエルです。似たカエルにニホンアカガエルがありますが、三浦半島にはいないそうです。目の後ろの模様から身体に沿った黒い線が離れているのがニホンアカガエルと区別する方法の一つです。このカエルは厳寒の1月末には池にもどってきて



←線が離れている



後ろ足が生えたオタマジャクシ

卵を産みます。天敵のヘビが冬眠中に卵を産んでしまおうという作戦ですが、氷が張るような冷たい水に1ヶ月以上も、ずうっと入っているのはすごいことです。

9月に見つかったカエルが来年1月に諏訪小学校の池にもどってきてくれたら楽しいですね。

下の3枚の写真は、私の家の池に来るカエルのことです。



池に浮かぶヤマアカガエル 3/19



池の中に産み出された卵 3/19



オタマジャクシの顔 (種類で違う)

# クロスジギンヤンマ

体長約8 cmもある大型のトンボ「クロ

スジギンヤンマ」が4月25日と5月23日にビオトープの池で卵を産んでいました。このトンボは水草の茎に卵を産むので、水草がない水場では産卵できません。よく似たトンボにギンヤンマがありますが、クロスジギンヤンマには胸の横に黒い2本の筋があること、ギンヤンマがオスとメスが連結して卵を産み付けるのに対して、クロスジギンヤンマはメス単独で卵を産み付けることで区別ができます。



小さなアサザの葉の上からなら茎に産卵できますが、ハスの葉からでは産卵できず、何周も回っていました。



擬態するヤゴ

大きさ比べ

胸の2本の筋

水中を眺めていて、ハスの茎そっくりのヤゴを見つけびっくりしました。緑色のヤゴなんて初めて見ました。ハスの茎に擬態しています。しばらく気がつかない私は、メダカだったら、完全に食べられていました。

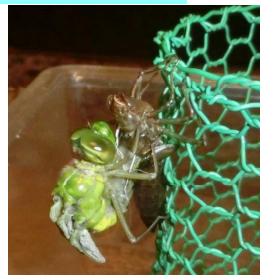
大きさ比べ

右がクロスジギンヤンマのヤゴで左がアキアカネのヤゴです。目盛りは5 mm です。

胸の2本の筋

胸にある2本の黒い筋がクロスジギンヤンマの名前の由来です。

羽化するクロスジギンヤンマ 2014年4月14日に撮影したものです。



写真左から右へ羽化が進みます。水から上がって、飛べるまでに12時間かかりました。

